

幼 兒 の 教 育

昭 和 九 年 二 月

い き く し さ

子ぎもの友さなるに。一番必要なものはいきくしさである。必要といふよりも、い
きくしさなくして子ぎもの傍にあるは罪惡である。子ぎもの最も求めてるるものを與
へず、子ぎもの生命そのものを鈍らせずにおかないからである。

あなたの目、あなたの聲、あなたの動作、それが常にいきくしてゐなければならな
いのは素より、あなたの感じ方、考へ方、欲し方のすべてが常にいきくしてゐるもの
でなければならぬ。みんな美しい感情、正して思想、強い性格でも、いきくしさを
缺いでは、子ぎもの傍に何んの意義をも有しない。

鈍いものは死滅に近いものである。一刻々に子ぎもの心を蝕み害はずにゐない。い
きくしさを抜けた鈍さ、幼稚園では、この位存在の餘地を許されないものはない。